

LaboJet-2000Bio

インクジェット技術による
極微量液体ハンドリング革命

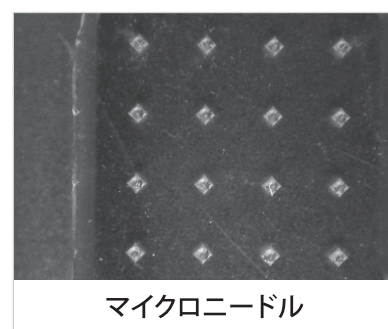
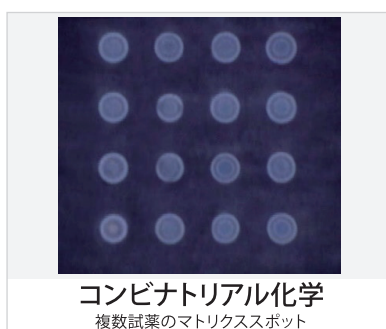
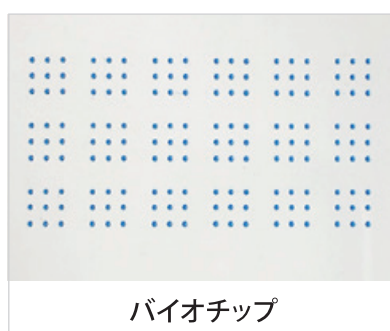


従来技術では不可能な「定量性」と「微量化」を実現

インクジェット新ディスペンス技術

応用事例

- 微量な各種バイオ液材料を吸い上げて自在に分注やパターニング
- ピコリットルやナノリットルの液量を、CV値2%以下で定量分注



ライフサイエンス専用インクジェットヘッド [GlassJet]

- 通常は吐出が難しい低粘度・高表面張力液を吐出
- 15種以上のヘッドから液量や粘度に応じて選択可能
- デッドボリュームを極小化 [30 μ l]
- 液吸い上げ機能により少量でも取り扱い可能 [100 μ l]
- マイクロプレート内に挿入が可能な超小型先端形状 [ϕ 2 mm]



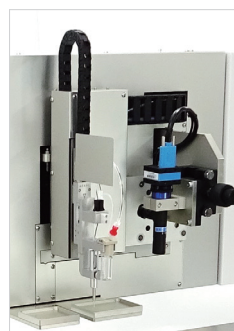
ホワイトペーパーをダウンロードできます
QRコードからアクセスしてお申込みください

使いやすさ & 迅速なサポート

お客様の研究開発を支援する各種機能

目的に応じたヘッド種類や搭載数のカスタマイズ

- ライフサイエンス用 インクジェットヘッド [GlassJet]を搭載
- 研究目的に応じ、15種類以上のヘッドから選択
- ヘッド選定にあつては専門家がアドバイス
- ヘッドはユーザーが簡単に交換



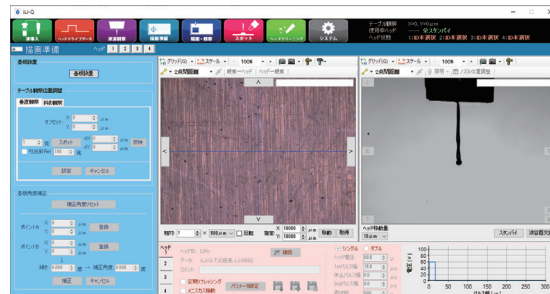
1ヘッド搭載



4ヘッド搭載

使いやすいユーザーインターフェース

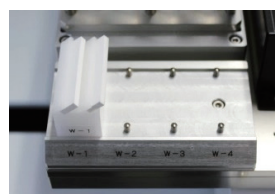
- 日本語の専用アプリケーションで直感的な操作が可能
- インクジェット未経験者にも使いやすい画面構成
- 液滴の吐出状態のモニタリングにより確実な実験
- デジタル印刷なのでパターン変更が容易



専用アプリケーションメイン画面

研究開発から量産試作までに対応

- インクジェット特有の面倒な操作が自動化
- 量産化を見据え経験豊富なプロがアドバイス
- 難しい実験は専門のオペレーターが現地でアシスト



自動ワイピング機構



試薬吸い上げ機構

Made in Japan の独自技術

LaboJet-2000Bio 特徴

- 1 バイオチップ・センサー等の試作をDeskTopで実現
- 2 4種類の材料を非接触で高精度パターンニング
- 3 吸い上げ・洗浄機能により多種類の液をハンドリング
- 4 ピコ・ナノリットル単位で自在に多段階デジタル制御
- 5 Made in Japanの信頼性と安心のサポート体制



装置 概仕様

項目	仕様
搭載ヘッド個数	最大4個
自動XY軸ステージ移動速度	50 [mm/s] (MAX) ; アプリケーションによる速度調整可
自動XY軸ステージ移動分解能	1 μ m
テーブルサイズ	W:330 \times D:240 [mm]
描画範囲	W:300 \times D:210 [mm]
テーブル機能	手動回転 (オプションによる自動 θ 軸機能)、加熱テーブル
テーブル手動回転調整範囲	$\pm 3^\circ$
基板厚さ	25 mm (MAX)
外形寸法	W:1160 \times D:550 \times H:700 [mm] ※突起部を除く
本体重量	130 kg以下
電源	単相AC100V \pm 10% 50/60 Hz 800 VA以下

